

## なんだ・かんだ

### ◆ 柳井正の希望を持とう 朝日新書 ◆

「変革しろ、さもなくば、死だ。」ちょっと過激な文ですが、2011年のファーストリテーリング(ユニクロ)の年度方針です。

腹をくくる年。前年国内で業績が芳しくなかった事に対して、経営陣だけでなく、全社員に対して失敗したという事実を徹底的に認識し、全員でもう一度仕事を抜本的に変革し、新しい事実に対応していく為に、自ら変わるかどうかを問うています。

ユニクロは山口県の宇部で第1号店を出店してから、今年で20年が経つそうです。この短期間に世界で第4位のアパレルの製造小売メーカーになっていますが、これだけ成功しているのに、もっと先を目指し、冒頭の厳しい年度方針を掲げてさらに先を目指しています。10年後に、日本・中国・アジア・米国・欧州でそれぞれ売上高を1兆円として、世界1位の座を目標としています。

何とすごい勢いでしょうか。そして、目標に向かって試行錯誤しながら、絶えず前進し突き進んでいくパワーはどうでしょうか。

柳井社長は、宇部で2店舗の洋服屋の親父だった頃から、世界を相手に商売をすることを考えていたと言います。本書では、「自分に期待すれば必ず活路は開ける。何も考えずに日々を安穏と暮らしている人にはチャンスはやってこない。「どうせ自分なんて」と考えるのではなく、「自分はこんな事が出来るのではないか」と自分に期待して、そこを一生懸命みがければ必ず活路は開く。」と教えてくれています。

リーマンショック、東日本大震災と100年に一度1000年に一度の災難を経験し、そしてこの超円高・株価下落・電力不足・法人税増税の四重苦で、傷口に塩を塗られているような状況ですが、下を向いてばかりはいられません。柳井さんが言うように、しっかり前を向いて、自分の可能性を信じて大きな夢を描き、実行していくしかないのでしょう。

京セラの稲森会長もその著書で書いています。「人生・仕事の結果＝(+)考え方×熱意×能力」、つまり掛算だから、まず考え方がプラスの方向でなければ前へは進めないということです。そして、「熱意」。寝ても覚めても強烈に思い続けることが大切で、その夢を隅々までイメージできれば実現できます。

菅総理がやっと辞意を表明し、民主党の党首選が行われている最中です。5人もの候補者が出て乱戦模様ですが、誰になっても良いから是非、日本の素晴らしい未来を描ける人になってもらいたいものです。

本書でも「今の日本には誇大な妄想といえるくらいスケールの大きな夢が必要で、その夢は、ひょっとしたら自分には出来るんじゃないか」と思いこむところからはじまる。」と言っています。

国も会社も大きな夢が目の前に掲げられ、その夢は叶えられると信じて、失敗や成功を繰り返しながら1つ1つやるべきことを熱意を持って「実行」して行くと、いつの間にか夢が現実になっているのかもしれない。

### ■ 定年退職、ご苦労様でした。 ■

今月の15日当社営業部社員の堺康博が定年を迎えました。

中途で入社して以来5年ですが、その貢献度は絶大です。仕事に対して非常に真面目で厳しい人です。担当のお客様としっかりコミュニケーションをとり、堺でなければ注文しないと言わんばかりの関係を築いています。当社の若手社員に対しても、営業マンとしての仕事に対する姿勢を教えてくださいました。

今後も継続して当社において、今までと変わらず営業として頑張ってくれることになり、誠にありがとうございました。康第一で頑張ってくださいました。



気温は35℃を連日越えこのまま溶けてしまうのではないかと思うような暑い日が続いた後、お盆明けに急に涼しくなり寒暖の差に体がついていけない状態です。

先日、過去の「契通信」を読んでいたら、昨年の同時期も円が急進し、日本の大手企業の円高による利益損失について書いていました。

今は各企業想定ドルレートを約80円とし、円高に備えているとは言え、この急激な円高は、輸出企業を中心にその収益を直撃しています。1ドル円高で、トヨタは340億円の利益が押し下げられると言います。リーマンショックで痛手を負い、やっと立ち直りかけたところで、東日本大震災がおこり再下降。そして、震災後やっと回復しかけていた企業業績がこの円高で腰折れしてしまつて懸念が高まっています。

日本の総理大臣も変わります。(米大統領が1年半もの時間を掛けて選ばれるのに、日本はたった2〜3日。少し乱暴だと思います。)次期総理には、何とか強力なインシアチブの元、経済は無難、政治も含めこの難局を乗り切つて欲しいと切に願っています。

代表取締役 服部殿一郎

I HOPE FOR THE CHANGE

## チキリについて

### ● 創業 ●

当社は、1924年(大正13年)に現社長の祖父「服部義雄」により創業されました。元々沼津でかなり大きく魚の仲買をしていたという事ですが、事情があって仲買をやめ、船具商として創業しました。現在の魚市場は沼津港にあります。その昔は狩野川の川岸にあったそうで、今の永代橋があるあたりで仲買を営んでいたといえます。最盛期はこの辺りが「ちきりの河岸」と言われた程大きな商をしていたようです。

古くからある多くの問屋が今でも屋号で呼ばれていますが、「ちきり」という変な名前もやはり屋号で、このチキリの商標(・)にOがつくとデパートのそごうの商標になります。ちきりの意味は木工の接続技法で「クサビ」のことです。(詳しくは本通信のVOL1で書いていますので、当社ホームページの「契通信」バックナンバーをご覧ください。)

当社も創業して今年でなんと87年になりますが、何とか100年の声を聞きたいと思います。そして更に次の100年へ事業を継続して行きたいと思っています。

本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。N

・ 株式会社チキリ  
静岡県駿東郡清水町卸団地73  
Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL <http://www.chikiri.com/>

